

純心だより

7月

睡蓮の花が鮮やかに開き、ヒマワリが空に向かって咲き誇る季節がやってきました。庭のグラジオラスも赤や黄色と咲き誇り、綺麗ですね。

しかし時には、じめじめした天気の日もあります。梅雨ですもの、当たり前ですね！梅雨だけなら良かったのですが、今年は熱海で、土砂災害が起きました。造成地が崩れ落ちたとのこと、悲しいですね。人災です。亡くなられた方や行方不明の方も多いです。どうしてこんなことをした人がいたのだろうと怒りが止まりません。やはり自然は怖いです。私たちの施設も、笹が瀬川の土手に沿ってあります。いつもいつも緊張感をもち、水が出た時の訓練をおこなえばと、また対策を考えておかなければと、改めて気持ちを引き締めています。

コロナについても、いつまで面会を止めて置いたらいいのかと非常に悩んでおります。岡山県では、最近感染者数がゼロの日が続きました。もうそろそろ大丈夫かなと安心していただけ矢先に、2人・3人とまた感染者が出ています。ご利用者様もご家族様も、面会制限に對し、すでに辛抱の限界を超えておられることはよくよく承知しております。ワクチン接種をご利用者様も、職員もすべて終えた施設から、面会を再開しようと思っております。今しばらくお待ちください。

もうこれ以上、コロナが岡山で暴れませぬように！と、毎日祈る気持ちでニュースを見ています。

前田計子



七月七日、七夕会★

七月七日、岡山の天候は、警報がでるほどの雨天でしたが、雲の上で織姫と彦星が会えることを願って、各施設で七夕会が行われました。七夕の日までに職員が立派な竹を準備し、ご利用者様に綺麗に飾っていただくところからイベントはスタートしました。当日はみんなで、「笹の葉さくらさくら」とお歌を歌い、七夕気分を盛り上げ、七夕クイズをしたり、七夕のDVDを鑑賞したりと、たつぷり七夕に浸っていただきました。その後は、夏祭り気分でお神輿担ぎ、ヨーヨー釣りや厚さを吹き飛ばせ！と、かき氷作りを行いました。昔懐かしいかき氷器に、ご利用者様も「昔よく子供たちに作ってあげたんよー」「楽しいなー」など、思い出を語ってくださいながら、必死に作ってくださいました。自分たちで、作って食べるかき氷は格別に美味しくて、そして特別に楽しかったです。

短冊にたくさん書いてくださった皆様の願いが、どうぞ叶いますように♡





きらめきクリニック通所リハビリテーションのご紹介

きらめきクリニック通所リハビリ

テーションは看護師が1名、介護スタッフが5名、理学療法士が1〜2名で運営しています。岡山純心会の通所リハビリテーションでは唯一、リーダーが理学療法士なので「個別リハビリテーションを大切にしよう」、「生活援助もリハビリのひとつ」ということを目指しています。

「個別リハビリテーションを充実」に関しては、理学療法士が個別にリハビリの計画を立て、その日の状態に合わせてマンツーマンで実施しています。マシンや運動指導だけではなく、理学療法士が直接身体を動かしてみることができ、「しっかりとみてくれて嬉しいわ」「ここはいろいろなお話が相談しやすいわ」とうれいお言葉をかけてもらっています。

「生活援助もリハビリのひとつ」ですが、令和3年4月から入浴介助もリハビリテーションという考えの基、スタッフ全員で皆様の動作を検討し、取り組んでいます。寝返りから歩行、フロアでの活動まで、

すべてがリハビリと位置づけているため、皆様の動作を見守り最小限の援助をすることを大切にしています。「ゆつくりごめんね」とよく言われますが、自分でできることを精一杯取り組んでもらうことが私たちの目標になっています。

イベントにも力を入れています。毎月の行事である「和菓子の会」や「もぐ



もぐクラブ」、「お花見」や「夏祭り」、「七夕会」や「クリスマス会」など季節に合わせてのイベントなども行っており、「楽しかった!」「美味しかった!」など笑顔あふれる会となっています。今後、通所リハビリテーションとして取り組んでいこうとしていることがあります。フロア活動の充実ということで現在はものづくりの活動が中心となり、毎月様々な飾り物に取り組んでいますが、これに加えて身体を動かすことを目的としたレクリエーションを取り入れて行こうと話合っています。今より楽しく、今よりリハビリに取り組めるそんな場所を目指して「全盛期は常に未来!」で頑張っていきたいと思えます。皆様今後ともよろしくお願ひします。



岡山純心会 七月の予定とお知らせ

- 和菓子の日 五日 全施設
- 七夕会 六日・七日 デイサービスやさか・きらめき荘入所他
- 誕生日会 二十一日 全施設

